

閉会のご挨拶

高齢者がん診療ガイドライン作成委員会

石黒洋

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科

地域がん診療連携拠点病院 「高齢者がん診療ガイドライン」研修会

～高齢者機能評価の実践に向けた研修を中心に～

(高齢者のがんを考える会議 8)

がんは高齢者の慢性疾患になって久しく、がん医療の進歩により治療効果が向上する一方で、がんを患いながらほかの併存疾患の治療を受けたり、加齢に伴う心身の機能低下のもとでがんの治療を継続したりすることも多くなってきています。質の高いがん医療やケアを高齢がん患者さんに届けていくためには、私たちはどんなことに取り組めばよいのでしょうか。このたび新たに作成された「高齢者がん診療ガイドライン」を踏まえ、高齢者のがん医療を多職種でどのように実践していくのか、ガイドラインの背景や高齢者機能評価(GA: geriatric assessment)を学ぶ、高齢者のがん医療やケアの実践に向けた研修会を開催します。ぜひご参加いただき、ご意見ご提案をお寄せください。

開催日
2023年
3月4日(土)
10:00～12:00
オンライン開催
Zoomウェビナーを使用します

PROGRAM

全体司会：渡邊 清高 (東京大学医学部内科学 腫瘍内科)

開会あいさつ

佐伯 俊昭 (埼玉医科大学国際医療センター 院長)

第1部 研修会の背景と目的

渡邊 清高 (東京大学医学部内科学 腫瘍内科)

第2部 基調講演

① 高齢者がん診療ガイドラインの紹介と解説

CQ1: 高齢がん患者における高齢者機能評価(GAもしくはCGA)
二宮 貴一朗 (岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター)

② 質の高い高齢者のがん医療の普及に向けて

津端 由佳里 (鳥取大学医学部内科学 呼吸器・臨床腫瘍学)

③ 高齢者のがんガイドラインへの期待

桜井 なおみ (キャンサー・ソリューションズ株式会社)

第3部 ディスカッション

司会：田村 和夫 (高齢者がん医療協議会)、渡邊 清高

パネリスト：二宮 貴一朗、津端 由佳里、桜井 なおみ

指定発言

CQ2-4: 高齢がん患者におけるリハビリテーション治療
辻 哲也 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

CQ5: 高齢がん患者における栄養療法およびサルコペニア対策
内藤 立規 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科)

まとめ・開会あいさつ

石黒 洋 (埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科)

この研修会の目的

がんを患う高齢者に質の高い医療とケアを提供するために高齢者がん診療ガイドラインを活用し、高齢者機能評価を実践できること

この研修会の到達目標

- 高齢者のがん医療の実践に必要な要素を説明できる
- 高齢者機能評価を医療やケアの場で活用するための取り組みを提案できる
- がんを患う高齢者の支援に向けた多職種チーム医療の意義を説明できる

申込方法

【事前申し込みが必要】

ウェブフォームにてお申し込みください

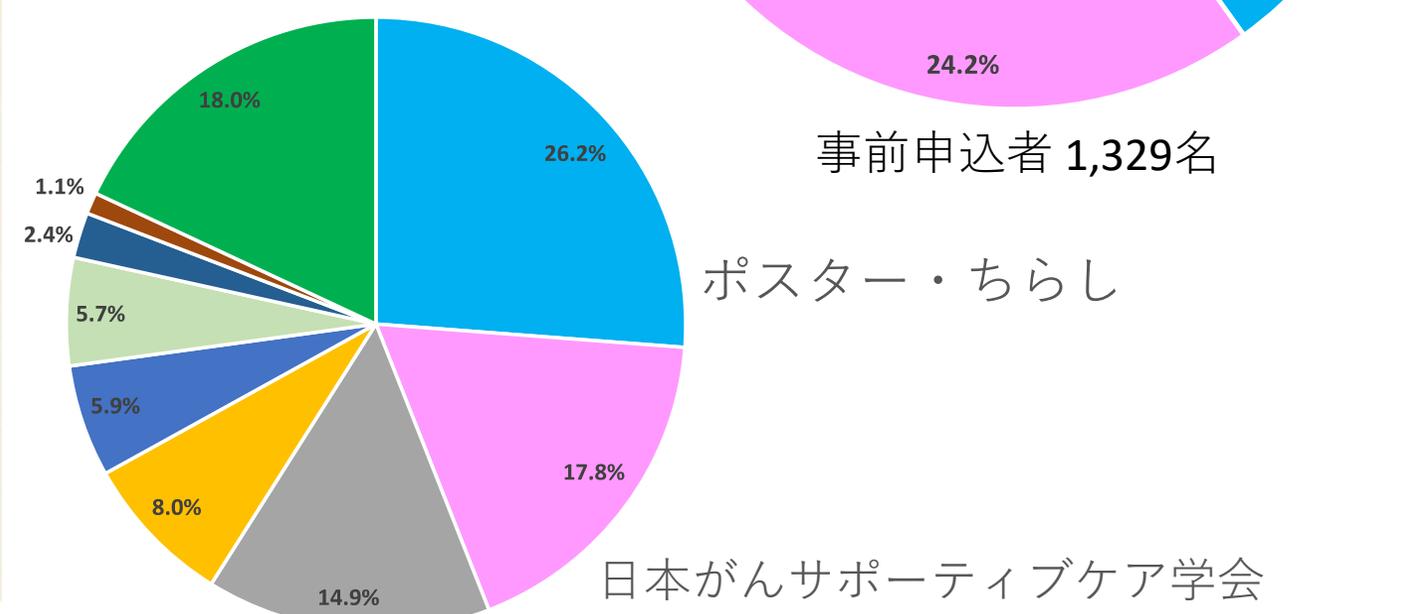
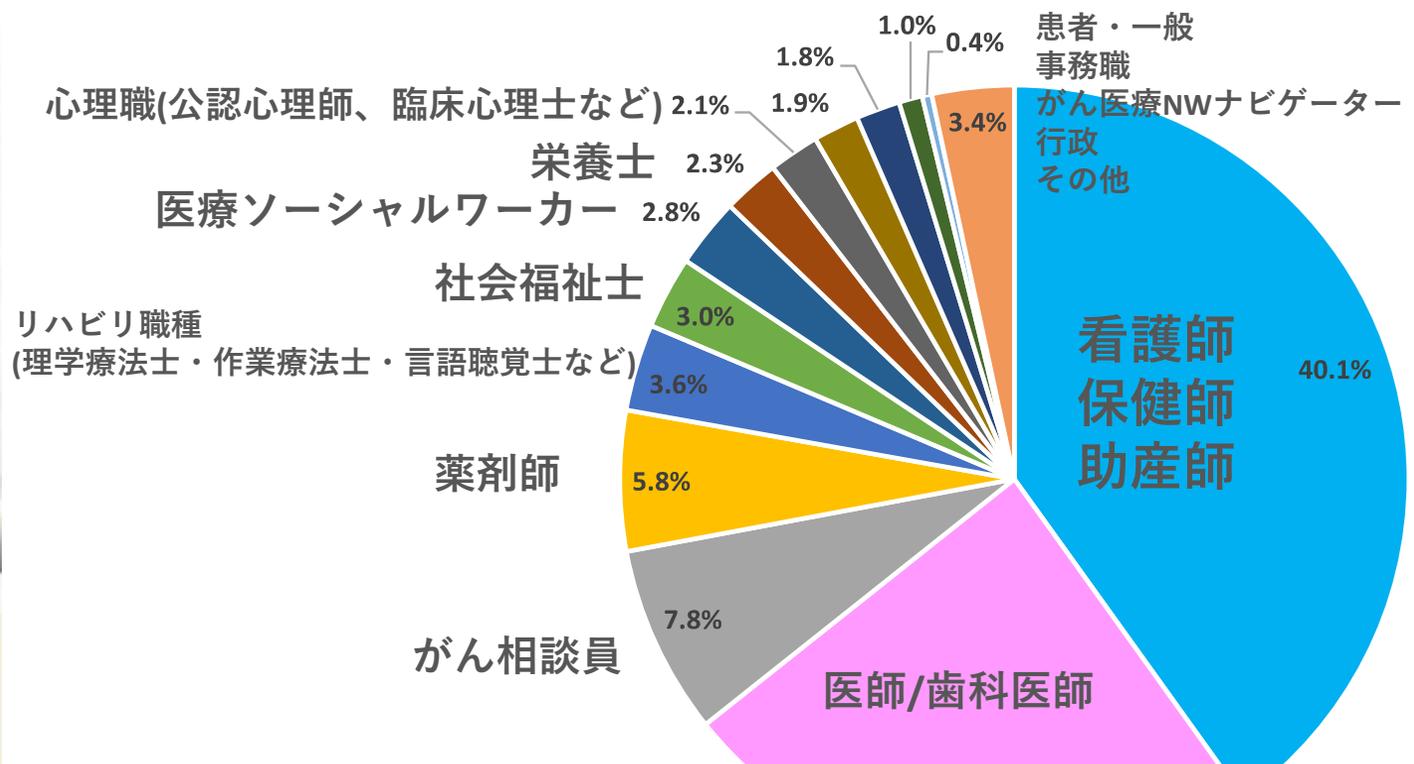
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_RTDipmG0QFL_8SzXvAxW9g

2月25日までに名前、所属、メールアドレスを登録ください。二次元バーコードからスマートフォンで申込みいただけます。



【参加費】無料

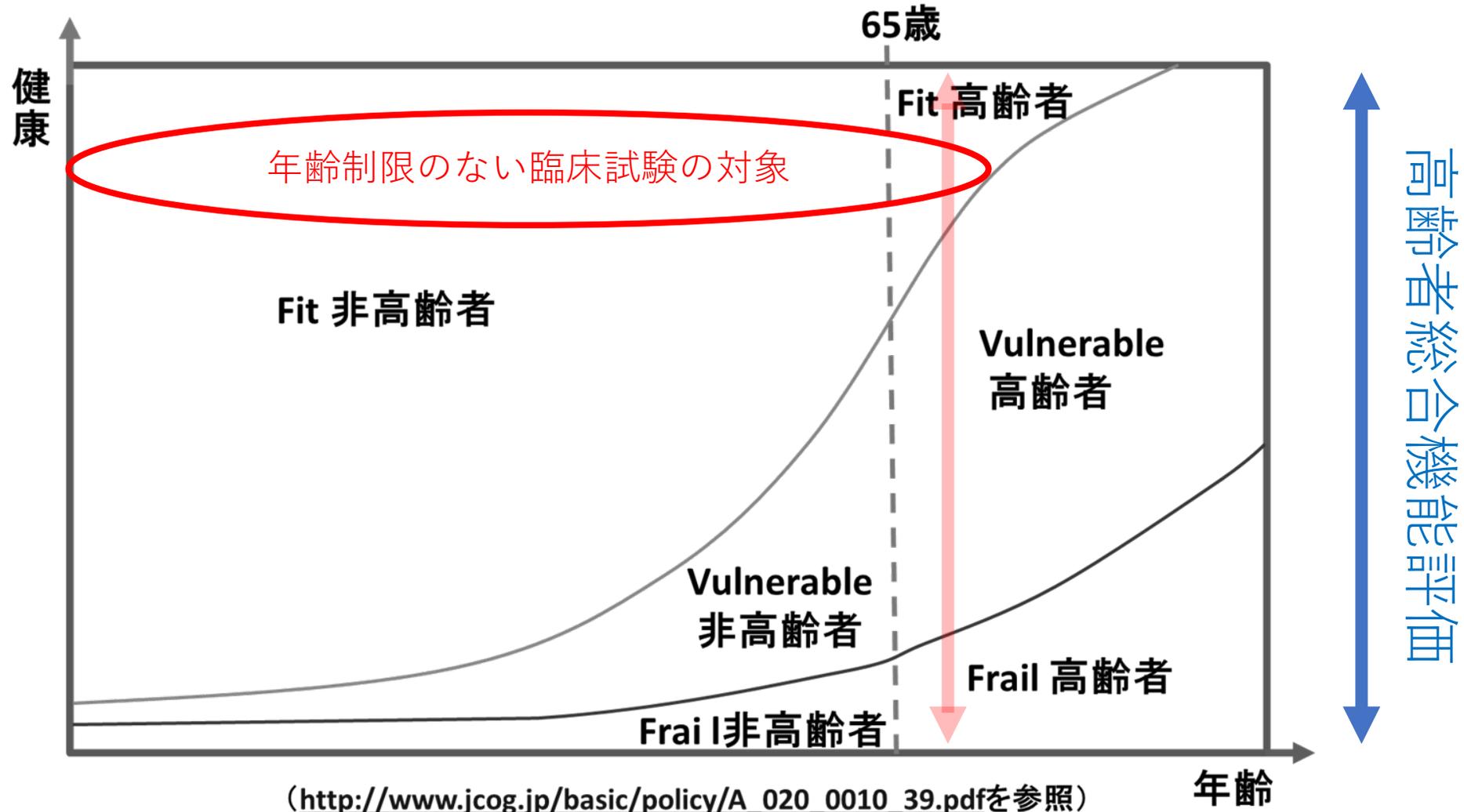
【対象】医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーション職、栄養士、心理師などの医療従事者、介護・福祉職の方、高齢者のがん医療に関心のある方



日本がんサポーターズケア学会

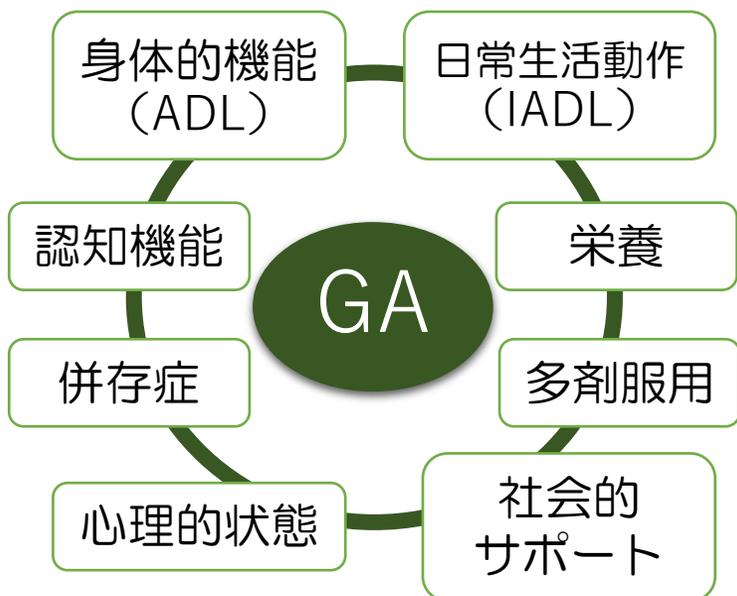
臨床試験のエビデンスが有用なのは、高齢者の限られた集団

侵襲的な検査、がん治療を実施する際の対象集団の概念的な区分



高齢者機能評価の方法

「高齢者がん医療Q&A 総論」より



評価項目	高齢者機能評価のツール
化学療法の副作用予測	CARGスコア または CRASHスコア
身体機能 (日常生活動作)	IADL (Instrumental Activity of Daily Living)
併存症	詳細な病歴、チャールソン併存疾患指数 (CCI) Cumulative Illness Rating Scale (CIRS) 等
転倒	過去6ヶ月間の転倒回数
うつ	GDS (Geriatric Depression Scale)
認知機能	Mini-Cog または BOMC (Blessed Orientation Memory Concentration) test
栄養	BMI (Body Mass Index)

ASCOガイドラインより改変
Mohile SG, et al. *J Clin Oncol*. 2018; 36(22): 2326-47.

CQ1. 高齢がん患者に対する治療（薬物療法）に際して、
高齢者機能評価（GA/CGA）を行うことは推奨されるか？

推奨

高齢者機能評価（GA/CGA）を行うよう提案する。

〔推奨の強さ：2，エビデンスの強さ：B，合意率：73%〕

エキスパートパネルの際に議論された委員の意見

<強く推奨する>

- 時間をかけてでも実施する利点が大いなのであれば、診療レベルを向上させることにつながる

<弱く推奨する>

- GA/CGAを実施した際にどのような医療が提供されるべきか、支持療法や薬物療法の減量などの具体的な対処法の検討は未だ十分でない
- 有害事象や患者の満足度における利点は示されたが、QOLやADL/IADLの改善にはエビデンスが不十分である

行うことを推奨	行うことを弱く推奨（提案）
27% (3/11)	73% (8/11)

患者視点

研修会テーマについての関心、ご提案、ご意見

- 軽度**認知症**高齢者への医師からの**告知**のし方、告知の際に心掛けていること
- 最終的にはがん拠点病院ではなく**地域の病院**で高齢者の**がん終末期**をみることができない状況
- 病院から地域の在宅クリニックへの**依頼時期**が遅すぎ
- がん**多併存疾患**をどうみていくべきか
- **身寄りがない人**や、**意思決定が困難**な人への支援

医療・介護の連携と体制整備に関する研究

第1回 高齢者がん診療向上のための国際セミナー



**第1回
高齢者がん診療向上のための
国際セミナー**

老年腫瘍学領域の最新エビデンスを共有することで、
我が国における高齢者がん診療の問題点を
改めて抽出するとともに解決策を探る

会期 **2023年8月5日(土)10:00~16:00**
※ハイブリッド開催

会場 **浜松町コンベンションホール**
(〒105-0013 東京都港区浜松町 2-3-1)

参加登録 **OPEN 募集中です**
参加登録ページはこちら ▶▶



開催概要会期:2023年8月5日(土) 10時~16時

会場:浜松町コンベンションホール

主催:AMED津端班

後援:日本臨床腫瘍学会、日本老年医学会、高齢者がん診療コンソーシアム

共催:中外製薬株式会社、武田薬品工業株式会社 他

予定参加者数:現地、WEB参加合わせて約300名

開催形式:ハイブリッド方式、日本語/英語同時通訳あり

ご登壇予定の先生:

東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授

日本老年医学会 理事長 秋下雅弘 先生

Prof. Supriya Mohile & Dr. Allison Magnuson

University of Rochester, USA

福島県立医科大学医学部肝胆膵・移植外科学

丸橋 繁 先生

放射線治療:都立駒込病院 放射線科(治療部) 医長

室伏 景子先生

他

診療連携拠点病院における高齢者がん医療の実践、
機能評価に関する疑問点の解決を目指します

お申込みはこちらまで

